

尊厳のあるケアとは何か

～認知症の状態にある方へのかかわり方の根幹～

【講義・演習】

▽日時／2026年5月11日(月) 10:00～16:00

(受付9:30～)

▽会場／千葉市社会福祉研修センター研修室

(千葉市ハーモニープラザ B 棟2階)

▽募集定員／ 24 名【先着順 定員に達し次第締切】

▽受講資格／市内福祉施設・事業所にお勤めの方で、認知症ケアに従事されている方

▽受講料／無料

▽持参するもの／筆記用具

▽申し込み方法／別紙『研修受講申込書』に必要事項を記入し、FAX またはメールをお送りください。

HP からのお申込みも可能です。

研修の方向性

認知症の方にケアを提供する専門職の方に必要な視点を涵養する研修となります。

本研修では法令や様々な事例を通して、その方の有している能力の把握と認知症の方を画一的に考えない視点を確認していただきます。あわせて、数多く目にし、要求される「利用者の尊厳を守る」・・・耳なじみのいい言葉ですが、具体的にどのような場面で、どのような方法で、それを実行・実現していくのかをじっくり考えていただく機会となります。

講義を通じて認知症の方に向き合う支援専門職としての矜持を再確認していただき、演習・グループワーク等を通じて「暮らしの中で支援を組み立てる」ということや「人としての当たり前の暮らしを創造する」ための様々なアイデアを獲得していただきます。

※今回の研修では、高齢者の認知症の状態にある方を土台として講義演習が展開される予定となります。

プログラム(予定)

- 1 生活者の主体は誰か
- 2 手助けの距離を測るということ
- 3 その人を知るための情報収集のあり方
- 4 起因を探るということ
- 5 あたり前の感覚を失わない

主催 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会

千葉市社会福祉研修センターHP <https://chiba-shakyo.jp/learning/seminar/>

TEL 043(209)8841 FAX 043(312)2943 担当 山村

メール yamamura-t@chiba-shakyo.jp